

地方分権改革と地方創生

～自治体イノベーション～

多久市長 横尾俊彦

2016年1月13日

地方分権改革シンポジウム

TAXI & 多久市

Taku City



多久聖廟 Confucius Temple



- * 第4代邑主・多久茂文の願いと祈り
- * 1708年に創建
- * 「鄙びた小さな領地ではあるが自分は領主として、人々の教育と良い政治を行う責任・使命がある」

『文廟記』

廟舎をみれば即ち敬を思う

敬は一心の主宰
万事の根本にして
万世聖学の基本なり。

聖廟を建て、敬の心を育てたい。



恕の心

孔子が教えた最高の教訓のひとつ
人生と政治の要諦に通じる教え

己の欲せざるところ
人に施すことなかれ

論語と帝王学

政は正なり

近き者 説べば
遠き者 来たる



自己紹介プロフィール

- * 平成9年に市長就任（41歳）
- * 「市役所は市民に役立つ所」「行政もサービス産業」
- * 営業本部、ISO取得、そうじの会、未来志向
- * 予算カットする厳しい市長査定からスタート
- * 倒産させない工夫と、新時代要請に応える努力
- * 平成15年4月に佐賀県市長会長（12年4か月）
- * 平成18年5月、26年5月に九州市長会副会長
- * 平成18年6月、26年6月に全国市長会副会長
- * 内閣府・地方分権改革推進委員など歴任

財政の健全でしなやかな運営

* 26年度決算		早期健全化基準	財政再生基準
* 実質赤字比率	—	14.52	20.00
* 連結実質赤字比率	—	19.52	30.00
* 実質公債費比率	11.5 (11.7)	25.0	35.0
* 将来負担比率	0.3 (一)	350.0	

- * 自主財源、特別交付税などの確保と、効果的な事業推進
- * 整備費用・維持管理など包括的コスト管理での改善
- * このほか市立病院も黒字経営に転換させて黒字経営継続中



本日のメニュー

- * 1 地方分権改革推進委員会
- * 2 分権議論の白熱したポイント
- * 3 4次にわたる勧告から今日への変化
- * 4 地方×分権・自治・創生
- * 5 地方創生を進めるために
- * 6 自治体としての取り組み
- * 7 先を見て～小中一貫教育、健康づくり、定住促進
- * 8 起爆剤に～企業誘致強化、既存施設活用
- * 9 温故知新～論語教育、孔子廟、
- * 10 未来へ…… 温故創新、近者説遠者来、

1 地方分権改革推進委員会

- * それは一本の電話から始まった……。
- * 「前例のない発想と大胆な提言を出してほしい」
- * 「出されたものはきっちり実行していく！」
- * 3年で、99回の委員会。非公式あわせて100回以上。
- * 地方分権改革推進の議論に対する反応や対応
- * 団体自治か住民自治かの視点……民主主義の成熟度
- * 前例を越えることの重要性和未来創造の視点
- * 地方議会の改革議論

2 分権議論の白熱したポイント

ローカル・ガバメントをめざして

- * そもそも「道半ばの改革議論」を受け継いだ
- * 「地方が主役の国づくり」「地方政府」の視点
- * 自治行政権、自治財政権、人材確保育成
- * ヨーロッパ自治憲章のスピリットと協働実践
- * 農地の利活用、職業紹介、公園管理などなど
- * 都道府県行政と国行政の比較評価も底流に
- * 前例崩しの困難さ、新創造の難しさ。でも改革こそ活路
- * 分権を担う「精神」「理念」「人材」の大切さ

3 4次にわたる勧告から今日へ

- * 委員会の任期中に、毎年のような政権交代
- * その都度、勧告受理者が変わるという苦しみ
- * 大臣同席の会議も。大臣折衝でも打開できない点も
- * 分権改革有識者会議、官邸主導の改革促進
- * 省庁別の分権可能な事務事業の見直し
- * さらに強力推進する安倍政権の重要性
- * 今が良ければ、自分が良ければ を越えるべき
- * 「為政清明」の大切さ

4 地方×分権・自治・創生

- * 地方分権 ガバナンスを自治体主体に
- * 地方自治 自ら治める気概・気風・気迫
- * 地方創生 前例なき創造をさらに進める
- * 肝心なのは「自治体経営」
- * 「City management」 「政治行政も経営」
- * 日本はまだまだ これから 高めるべき
- * 地方自治の議論
- * 議会の役割、議会の自己改革力も重要

5 地方創生を進めるために

- * 真の地方創生の大切さ
- * 国が課題を出し、優良回答のみ支援で正しいか
- * 孤軍奮闘し、汗も涙も出し尽くし数十年やってもなお苦しいという地域はどうなるのか……。希望を抱いてよいのか……
- * 希望の力、凡事徹底による変革を信じて促すことも大事
- * 整った企画書も重要、ひたむきな行動力・執念も大切
- * スイッチが入った若者の成長力・集中力を活かすべき

イノベーション

- * 新たな**変革**と**創造**を生みだす取り組み。
- * よりよい姿を求め、常に**自己変革**する。
- * 自らを省み、新たな可能性を信じ、
絶えざる変化を創りだす。
- * 新たな伝統となり、**無限の可能性**を拓く。

イノベーションに必要なのは

*Creativity

*Confidence

*Challenge

4つのキーワード

*Mission

*Vision

*Pasion

*Action

こんな公共サービスを・・・

- * 一人ひとりに寄り添う行政サービス
- * 心を動かす公共サービスの創造
- * 大きなビジョン・志にもとづく日々の努力
- * 迅速・正確・適切・公平・公正
- * 申請主義からPush型へ
- * いつもあなたを大切に思っていますよ。だから安心して暮らしてください。明日に希望を抱いて今日もガンバってください。

行政経営のイノベーション

- * 行政改革ではなく「行政経営」の変革を
- * 経営の視点、発想、実践を
- * 「生産性」の発想を公共にも
- * input output outcome
- * コスト意識ということ
- * 実際の価格を考える 間接経費も含める
- * 時間というコストも考慮する

City Management という着想

- * 「政治行政も経営である」
- * 「生産性の高い政治をめざす」
- * 政治行政での生産性向上をめざして研究展開

- * City Management という発想と実践
- * City manager
- * Productivity improvement という視点と試行

自治体経営改善の工夫

- * PDCAの意識と取り組み
- * サービス産業としてISO9001登録取得
- * アンケート、パブリックコメント
- * 市政への提案(投書箱、ネット投書)
- * 予算編成の工夫(自主性発揮)
- * 前例・法令の壁をいかに越えるか

Financeを含む経営改善努力

- * 財政再建経験 ⇒ 基金に積み上げ将来活用
- * ふるさと納税
- * 道路整備に新たな手法：地域の協力と底力
- * 用地取得と値引き交渉
- * 特別交付税など予算確保への“営業”努力
- * マイナンバー導入に際して国費対応を提案要望

行政経営の要諦

- * 時流を見究める眼力
- * 人を見分ける人物観察力
- * 知識と情報の渦に吞まれない洞察力
- * 管理職の能力を引き出し活かす育成力
- * 孤高に動じず、正義を貫く信念と大忍力
- * 人間力、謙虚、質素、徳性

西郷南洲翁遺訓 第四條

万民の上に位する者、己を慎み、品行を正しくし、驕奢を戒め、節儉を勉め、職事に勤勞して、人民の標準となり、下民その勤勞を氣の毒に思ふ様ならでは、政令は行われ難し。

6 自治体としての取り組み

- * 自治体経営のイノベーションこそ重要
- * マイナンバー活用時代は新しい行政経営を創造する
- * 全国市長会・共通番号制度等検討委員会 座長として提案
- * より広い利活用、より安全なセキュリティ、より高い利便性
- * 番号創国推進協議会
- * 自治体業務分析と、あるべき新たな行政の創造探求
- * ファシリティーマネジメント研究、
- * スローライフ自治体～移住の理由にスローライフの選択も

7 先を見て～

小中一貫教育、健康づくり、定住促進

★人口減少社会 → 少子化 → 潜在する課題対応

* 小中一貫教育の導入・推進×学校再編・教育環境向上

* 平成25年4月市内全校を3小中一貫校に再編してスタート

* ICT教育充実もチャレンジ～電子黒板、ICT支援員など

★健康づくり → 「健康はすべての基本」 → 市民の健康

* 特定健診受診率県内1位、肝がん撲滅プロジェクトスタート

* 18歳(高校三年生)まで子ども医療費助成拡充

★定住促進

* 定住奨励金、新婚さんいらっしやい助成金、ミニ団地など

★デマンド交通充実(規制緩和) ～「ふれあいタクシー」

①市内全校で小中一貫校

- * 政府の法制化に先駆けて着手
- * 7小学校+3中学校 ⇒ 3小中一貫校
- * 必要予算確保と議会对応
- * 予算削減の修正提案を乗り越える
- * 統合される学校地区の地元対応
- * 通学とスクールバス
- * 閉校式には全て市長が出て校旗を受取る
- * 未来志向の教育とICT利活用(電子黒板配備など)

②長寿健康の推進

- * 「健康はすべての基本」
- * 健診受診率低迷の日本 ⇒向上させよう
- * 特定健診受診率で県内トップに
- * ゾーン・ディフェンスからマンツーマンへ
- * 「本気にならない限り、人は行動を変えない」
- * がんになっても怖くない社会づくりの大切さ
- * 肝がん撲滅プロジェクト、ちくたくネット
- * 「日本健康会議」

③行政経営改革への試み

- * 業務分析にもとづく改革（ISO審査で体験）
- * 業務フローの把握、合理化の考察と実践
- * ルールが陳腐なら変えれば良い
- * 「法令も翌日から古くなる」
- * どこに、どのタイミングで、ICTを入れるか
- * トータルコスト意識による見直し
- * 「脱・お役所仕事」の意識と行動力
- * 海外の発想にも学んで変えたい

④ 一歩ずつ 少しずつ

- * 出産 記念証の交付 市長の直筆署名
- * 子育て支援 18歳までの子ども医療費助成
- * 保育の応援 保育料の負担軽減
- * ウォーキング 「新・歩く道紀行100選」に認定
- * 改革に激励金 行政改革で寄附を頂く
- * 定住促進 新婚さんいらっしやい家賃補助
- * 定住奨励 転入・移住に奨励金
- * 新たな工夫も 三世代同居への支援

8 起爆剤に～

企業誘致強化、既存施設再生活用

* まち・ひと・しごと

* 企業誘致・・・誘致奨励策の強化、営業力の充実

* セールスポイント ～100円リース・アクセス・土地・BB環境

* 安定地盤・危機管理・水資源・人材

* 既存施設活用～閉鎖民間観光施設土地をCC用地に入手

* 再生して活性化起爆剤に～雇用・交流人口・観光・経済

* 財源確保に活路、経営繁栄のため民間活力活用

9 温故知新・恕の心～論語教育

- * まち・ひと・しごと
- * 国家百年の計は人づくりにあり。「米百俵」精神。
- * 地域を輝かすには、地域の個性・特性を生かす
- * 多久聖廟(創建1708年の孔子廟、多久茂文の卓見)
- * 「恕」の心の大切さ……
- * 論語カルタで子どもたちは「100の論語の言葉」を暗誦する
- * 「多久学」～ 先人・先覚者や歴史を学ぶ
- * 志田林三郎＝日本人初の工学博士、電気学会創設に貢献
- * 現在のICT社会を科学的に的確予言
- * プライドを持つ・自分を信じる・自分をあきらめない
- * 言葉は魂を動かす原動力にもなる。先人達のすばらしさ

10 未来へ……

温故創新・近者説遠者来・恕

- * 美しい心の日本人を育てたい
- * ふるきを たずねて 新しきを 創る
- * 近き者 よろこばば 遠き者 来たる
- * 己の欲せざるところ人に施すことなかれ

IMPOSSIBLE



I'm possible

出会いと ご静聴に 感謝

NEVER GIVE UP

創造と変革へのチャレンジ

